

あおぞら教室

～中津川市立田瀬小学校～

国土交通省 多治見砂防国道事務所

平成29年9月22日(金) 中津川市立田瀬小学校で「あおぞら教室」が開催され、土砂災害にかかる講座、土石流模型実験、降雨体験が行われました。「土砂災害にかかる講座」では、中津川出張所の山田所長より、土石流やがけ崩れの映像を等で「土砂災害」についての話しや「中津川市土砂災害ハザードマップ」の見方や家族で避難場所を決めておくことなどの話しがされました。また実際に起きた「土石流」や「崖崩れ」などの映像を観て、流れてくる石の大きさや自然災害の恐ろしさについて学びました。

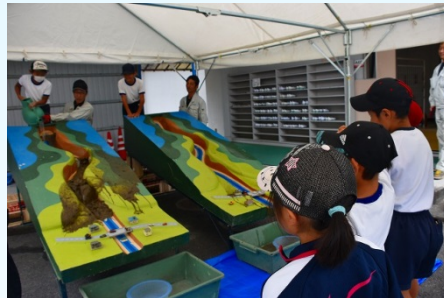
「土砂災害模型実験」では「砂防堰堤がある場合」と「砂防堰堤がない場合」で土石流が起きた場合の「堰堤のはたらき」について実験しました。「降雨体験」では田瀬小学校全校(46人)の児童に20^{ミリ}、50^{ミリ}、120^{ミリ}の雨の違いを体験しました。120^{ミリ}の雨がとても激しくて怖いということ体感しました。



「土砂災害ハザードマップ」を見ている様子 (4年生のみ)



「砂防」についての講義の様子 (4年生のみ)



「土石流模型実験」で砂防堰堤のはたらきについて学習しました (4年生のみ)



「降雨体験機」により20^{ミリ}、50^{ミリ}、120^{ミリ}の雨を体験。120^{ミリ}では雨の音の大きさ、強さにびっくりしました。(4年生・担任の先生・校長先生)



1年生の体験の様子



6年生の体験の様子



降雨体験を待っている様子

「降雨体験」は4年生以外の1・2・3年生、5・6年生の全校生徒に体験していただきました。